

試験研究に期待する

農業のように間口の広い技術の領域においては、水準の向上ということを期待しながら累積効果を考えるのが妥当なものと思われる。

一つの技術体系がかなり広はんに定着し、効果を現わすまでには、これを構成する多くの個別技術が研究され、体験され、統合した力を発揮するとき、はじめて進歩した技術の水準を獲得したと言えるであろう。一面、農業技術の中には、一時代を画するような発展の契機となったものも少なくない。稲作に例をとるならば、優良品種の育成、保温育苗資材の利用、諸種の作業機械の実用化、除草剤の開発などはそれであったし、これらは開発の領域にぞくして貴重なものであるから、将来とも大いに期待したいところである。しかし、日常の研究活動や技術普及の領域では、多分に構成要素的な問題と取り組むことになるであろう。一見はなやかさに乏しく、地味なものであっても、綿密な観察・調査・考察をもって対応するならば、目に見えない静かな進歩に寄与するものとして、新たな意義を獲得することができるのである。

今年も、除草剤・生育調節剤についての試験研究が全国的に展開されようとしている。

雑草防除一つを取ってみてもそれぞれの地域的背景に応じて、多様な問題を提起していると思われる。

これらの問題が的確に把握され、それに併せてすぐれた研究成果が得られることを期待する次第である。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
試験委員長 天 辰 克 巳

目 次

(第7巻第12号)

除草剤の混用における殺草力の検定
について

相加的效果の定義	2
CRAFTSの方法による相互作用検 定の手順	3
等効果線法による相互作用検定の 手順	4
これらの方法の性格と注意すべき 点	5
応用のしかた	6
おわりに	8

農林省農事試験場作物部

千 坂 英 雄

昭和48年度林業関係除草剤・生育
調節剤試験成績概要

I 除 草 剤	9
II 生育調節剤	10

農林省林業試験場造林部

眞 部 辰 夫

昭和48年度春夏作野菜・花き関係
除草剤、生育調節剤試験成績概要

I 除 草 剤	12
II 除草資材(除草剤添加フィルム)	43
III 前回未検討除草剤	44
IV 生育調節剤	44
V 前回未検討生育調節剤	49

農林省野菜試験場育種部長

西 貞 夫